

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 8 月 13 日 (2009.8.13)

【公開番号】特開 2008-11264 (P2008-11264A)
 【公開日】平成 20 年 1 月 17 日 (2008.1.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-002
 【出願番号】特願 2006-180372 (P2006-180372)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

G 0 2 B 7/28 (2006.01)

G 0 3 B 13/36 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/232 Z

G 0 2 B 7/11 N

G 0 3 B 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 6 月 26 日 (2009.6.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被写体像を光電変換する撮像素子と、

前記撮像素子により得られた画像信号から、被写体である人物の顔を検出する顔検出手段と、

撮影モードを設定する撮影モード設定手段と、

前記顔検出手段により検出された人物の顔から前記撮像素子上に投影された顔の大きさに基づいて主たる被写体を判別すると共に、前記撮影モード設定手段により設定された撮影モードに応じて、前記主たる被写体と判別するための前記顔の大きさの基準を変更する、主被写体判別手段と、
 を具備することを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記顔検出手段により検出された顔までの距離を検出する距離検出手段と、該距離検出手段により検出された顔までの距離と、前記撮像素子上に投影された顔の大きさに基づいて被写体である人物の実際の顔の大きさを算出する演算手段と、をさらに具備することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記主被写体判別手段は、前記演算手段により算出された人物の実際の顔の大きさに基づいて、主たる被写体を判別することを特徴とする請求項 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記主被写体判別手段は、前記演算手段により算出された人物の実際の顔の大きさが最小である被写体、あるいは、子供とみなせる大きさの被写体を主たる被写体として判別することを特徴とする請求項 3 に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記主被写体判別手段により判別された主たる被写体に対応する焦点検出枠を用いて前記被写体像の焦点検出を行う焦点検出手段をさらに具備することを特徴とする請求項 1 乃至

至 4 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

【請求項 6】

被写体像を光電変換する撮像素子を備える撮像装置を制御する方法であって、
前記撮像素子により得られた画像信号から、被写体である人物の顔を検出する顔検出工程と、

撮影モードを設定する撮影モード設定工程と、

前記顔検出工程において検出された人物の顔から前記撮像素子上に投影された顔の大きさに基づいて主たる被写体を判別すると共に、前記撮影モード設定工程において設定された撮影モードに応じて、前記主たる被写体と判別するための前記顔の大きさの基準を変更する、主被写体判別工程と、

を具備することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項 8】

請求項 7 に記載のプログラムを記憶したコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上述した課題を解決し、目的を達成するために、本発明に係わる撮像装置は、被写体像を光電変換する撮像素子と、前記撮像素子により得られた画像信号から、被写体である人物の顔を検出する顔検出手段と、撮影モードを設定する撮影モード設定手段と、前記顔検出手段により検出された人物の顔から前記撮像素子上に投影された顔の大きさに基づいて主たる被写体を判別すると共に、前記撮影モード設定手段により設定された撮影モードに応じて、前記主たる被写体と判別するための前記顔の大きさの基準を変更する、主被写体判別手段と、を具備することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、本発明に係わる撮像装置の制御方法は、被写体像を光電変換する撮像素子を備える撮像装置を制御する方法であって、前記撮像素子により得られた画像信号から、被写体である人物の顔を検出する顔検出工程と、撮影モードを設定する撮影モード設定工程と、前記顔検出工程において検出された人物の顔から前記撮像素子上に投影された顔の大きさに基づいて主たる被写体を判別すると共に、前記撮影モード設定工程において設定された撮影モードに応じて、前記主たる被写体と判別するための前記顔の大きさの基準を変更する、主被写体判別工程と、を具備することを特徴とする。